

## 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月30日

上場会社名 株式会社 ODKソリューションズ  
 コード番号 3839 URL <http://www.odk.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西井 生和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画総務部長 (氏名) 作本 宜之

TEL 06-6202-0413

四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	2,123	10.4	209		169		130	
30年3月期第3四半期	1,923	16.2	221		200		145	

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 221百万円 ( %) 30年3月期第3四半期 117百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	15.93	
30年3月期第3四半期	19.08	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	6,287	4,534	72.1	553.14
30年3月期	7,184	4,813	67.0	590.62

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 4,534百万円 30年3月期 4,813百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		5.00		5.00	10.00
31年3月期		5.00			
31年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	6.2	330	9.8	340	12.2	240	7.2	29.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	8,200,000 株	30年3月期	8,200,000 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	2,032 株	30年3月期	50,032 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	8,177,546 株	30年3月期3Q	7,600,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種政策を背景として雇用・所得環境に改善が見られ緩やかな回復基調が続いておりますが、米中貿易摩擦をはじめとした海外経済における不確実性の高まり等もあり先行きは不透明な状況にあります。一方、情報サービス産業においては売上高増加基調が続いており、回復基調の継続が期待されております。〔経済産業省特定サービス産業動態統計(平成30年11月分確報)より〕

このような環境下、当社グループにおきましては、「ODKを次のステージへ」を中期経営計画(2018~2020年度)の目標とし、「AIサービス、HRテックサービスの提供」「教育改革対応、医療業務拡大、本支店機能・インフラの最適化」「自動化・アウトソース推進、能力開発・スキル向上」を本年度の重点課題として様々な施策に取り組んでおります。

重点課題における当期の施策として、教育業務に際しUCARO®の市場価値を高めるため導入校数や登録者数の拡大に努めております。マーケットでのデファクト・スタンダードを獲得し、将来の教育改革やデータビジネス等の新規事業領域に向き合える体制を整え、競争優位の獲得を目指しております。また、医療業務でも電子カルテ導入・開発支援が本格化した。当該事業の拡大における大きな契機として、また、シナジー効果を最大限に発揮するため、医療システム課の新設を行いました。

また、削減された時間外勤務手当を社員へ還元する制度を導入いたしました。当制度により働き方改革への参画意識をより高め、健康経営の実行性をより高めてまいります。

当第3四半期連結累計期間につきましては、UCARO®の拡販を積極的にすすめ導入校数を16校増やしたほか、マイナンバー業務受託社数を26社としております。業績としては、証券総合システムSENS21の新規ユーザ運用開始、臨床事業に係るシステム開発、不正売買監視システムWatch21開発等があり、売上高は2,123,752千円(前年同四半期比10.4%増)となりました。また、開発用資産の償却にともなう一時的な減価償却費の増加や環境移行対応の材料費の増加等があったものの、売上高の増加等により、営業損失は209,129千円(前年同四半期は営業損失221,597千円)となりました。保険解約返戻金及び受取配当金の増加等により経常損失は169,295千円(同 経常損失200,003千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は130,266千円(同 親会社株主に帰属する四半期純損失145,021千円)となりました。

**なお、当社グループの事業は、大学入試業務等をはじめとした売上高及び利益が第4四半期連結会計期間に急増するといった特性があります。このため、第3四半期連結累計期間の売上高及び利益共に、低い水準にとどまり、損失計上を余儀なくされる傾向にあります。**

売上高の内訳は次のとおりであります。

#### <システム運用>

証券総合システムSENS21の新規ユーザ運用開始や電子カルテ導入支援等により、1,737,709千円(前年同四半期比13.5%増)となりました。

#### <システム開発及び保守>

臨床事業に係るシステム開発や不正売買監視システムWatch21開発等があったものの、金融業務における開発案件の剥落や子会社における保守支援案件の剥落等により、385,862千円(同0.3%減)となりました。

#### <機械販売>

一般事業法人向けライセンス販売の剥落等により、180千円(同96.4%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて897,606千円減の6,287,340千円となりました。これは主に仕掛品の増加があったものの、売上債権及び現預金の減少があったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて618,675千円減の1,752,733千円となりました。これは主に長期借入金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて278,931千円減の4,534,606千円となりました。これは主に利益剰余金の減少があったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね当初予想どおりの推移であり、通期連結業績予想につきましては、平成30年4月27日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,424,703	1,955,513
売掛金	1,656,069	627,166
有価証券	—	1,518
商品	—	118
仕掛品	69,978	884,202
その他	88,873	154,657
貸倒引当金	△9,775	△3,618
流動資産合計	4,229,850	3,619,557
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	58,451	55,758
工具、器具及び備品(純額)	58,943	79,585
リース資産(純額)	328,055	265,414
建設仮勘定	22,195	—
有形固定資産合計	467,645	400,758
無形固定資産		
のれん	20,274	8,109
ソフトウェア	612,737	442,430
リース資産	21,562	14,625
ソフトウェア仮勘定	11,165	43,886
その他	5,910	5,729
無形固定資産合計	671,649	514,781
投資その他の資産		
投資有価証券	1,414,235	1,268,382
繰延税金資産	120,444	204,291
差入保証金	159,652	158,380
その他	121,467	121,225
貸倒引当金	—	△37
投資その他の資産合計	1,815,801	1,752,243
固定資産合計	2,955,096	2,667,783
資産合計	7,184,946	6,287,340

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	216,274	139,900
短期借入金	240,024	239,964
リース債務	135,489	117,859
未払金	69,137	25,764
未払費用	65,743	121,725
未払法人税等	139,212	8,047
賞与引当金	121,108	64,006
その他	223,656	123,747
流動負債合計	1,210,647	841,014
固定負債		
長期借入金	419,922	239,964
リース債務	248,336	194,365
退職給付に係る負債	479,633	477,389
長期未払金	12,870	—
固定負債合計	1,160,761	911,718
負債合計	2,371,408	1,752,733
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	637,200	637,200
資本剰余金	683,650	692,722
利益剰余金	3,235,048	3,023,042
自己株式	△15,664	△640
株主資本合計	4,540,234	4,352,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	273,304	182,282
その他の包括利益累計額合計	273,304	182,282
純資産合計	4,813,538	4,534,606
負債純資産合計	7,184,946	6,287,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	1,923,468	2,123,752
売上原価	1,512,852	1,620,876
売上総利益	410,616	502,875
販売費及び一般管理費	632,214	712,004
営業損失(△)	△221,597	△209,129
営業外収益		
受取利息	316	426
受取配当金	18,376	22,751
受取手数料	1,096	922
保険解約返戻金	2,074	18,122
投資事業組合運用益	3,859	—
その他	383	2,089
営業外収益合計	26,108	44,312
営業外費用		
支払利息	4,514	4,371
投資事業組合運用損	—	88
その他	—	17
営業外費用合計	4,514	4,478
経常損失(△)	△200,003	△169,295
特別損失		
固定資産除却損	8	616
特別損失合計	8	616
税金等調整前四半期純損失(△)	△200,011	△169,911
法人税、住民税及び事業税	6,080	4,106
法人税等調整額	△61,071	△43,751
法人税等合計	△54,990	△39,644
四半期純損失(△)	△145,021	△130,266
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△145,021	△130,266

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純損失(△)	△145,021	△130,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	262,408	△91,021
その他の包括利益合計	262,408	△91,021
四半期包括利益	117,387	△221,287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,387	△221,287

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。